

[ゲンロク]

GENROO

BEST OF
SERIES
Vol. 1

PORSCHE SPECIAL

水冷ポルシェ 全記録



911 TURBO

第一章

ニュージェネレーション

[初試乗] 新型911ターボ

[タイムアタック] 歴代911GT3×ホッケンハイム

[衝撃の感觸] 911GT3/[RSへの期待] 911GT3RS

[独占取材] 911GT3 CUP/[日本上陸] パナメーラ

[列島横断] 911カレラ×10,000Kmテスト

歴代GT3
×ホッケンハイム

第二章

ニュルブルクリンク タイムアタック

997GT2<08y>/997GT3RS<07y>/996GT3RS<04y>

997GT3<09y>/997GT3<06y>/997ターボ<07y>

997カレラS<08y>/997カレラS<05y>

ケイマンS & ボクスターS<06y>/997GT2×ニッサンGT-R



911GT3

第三章

サーキット・アタック in JAPAN

997GT2/997ターボ/997GT3RS/997GT3/997カレラ×カレラS

997GT3×メルセデスSL63AMG/997GT2×ニッサンGT-R

911 Carrera
Carrera S

第四章

第一印象

997カレラ & カレラS<08y>/997カレラ4 & カレラ4S<08y>

997タルガ<08y>/997カレラ & カレラS<04y>

997カレラ4 & カレラ4S<05y>/997GT3<06y>

997ターボ<06y>/ボクスター<09y>/ケイマン<09y>



Boxster S

そ

の實力は決して一日にして生まれたものではない。幾多のレース経験により生み出された機能パーツは我々を魅了させる輝きを放ち、独特のオーラを漂わせていた。

カークグラフィック。欧州製ハイエンドカーを手がけるチューナーである。その中心を担うブランドはポルシェだ。今年6月には、彼らが毎年参戦するドイツ・ホッケンハイムのチューナーグランプリで3連覇を達成したと聞いたが、そのマシンも例年同様に911であった。

今回、そのチューナーグランプリのターボクラスに参戦したものとほぼ同じ仕様のマシンが日本で製作された。その名を「GT RSC 3.6」という。個体としては、997型ターボをベースにインポーターを務めるヴァイタミンが全面的にプロデュースしたもので、すぐさまピットロードに向かえる高い戦闘力と、日本の路上をそつなくこなす日常快適性を見事に両立させていた。

では、詳細を見よう。基本構成は吸排気およびECUアップグレードによるパワーキット、カーボンを多用したエアロパーツ類、ビルシュタインを用いたエアリフトを付けたサスペンション、軽量鍛造製のホイール、などである。これにムービットのセラミックブレーキや、K&Nのラムチャージャーなどを組み合わせ、さらに911を鍛え上げている。

低回転からジワリと過給が始まる特性のパワーキットは、ブリストアップ車とは思えぬほど滑らか。あつという間に異次元の速度まで到達する。路面の悪い場所でもビタリと張り付く足回りや、剛性感の高いブレーキによって不安は微塵もない。これで20インチか、と思うほど凹凸の



PORSCHE Parts Chronicle

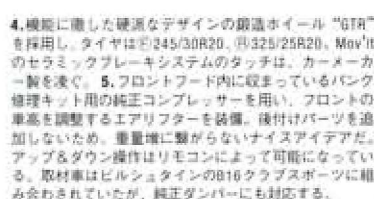
Cargraphic GT RSC 3.6

欧州最強のコンプリート。

REPORT ● 中三川大地 (Daichi Nakamigawa)
PHOTO ● 市 健治 (Kenji Ichi)



1.チューナーGPスペックのパワーキットで強化。2.排気系はレーシングマニホールド、スポーツエキゾーストおよびキャタライザー、テールパイプが装着される。3.リヤウイングを含め、リップスポイラーやドアミラーなどすべてカーボン製。ドレスアップというより軽量化とエアロダイナミクス効果を狙った機能パーツとして設計される。



4.機密に徹した硬派なデザインの鍛造ホイール「GT4」を採用し、タイヤはP245/30R20、P225/25R20、Mov'itのセラミックブレーキシステムは、カメラカーを凌ぐ。5.フロントフード内に収まっているバンク修理キット用の純正コンプレッサーを用い、フロントの車高を調整するエアリフターを装備。後付けパーツを追加しないため、重量増に繋がらないナイスアイデアだ。アップ&ダウン操作はリモコンによって可能になっている。取材車はビルシュタインの816クラブスポーツに組み合わされていたが、純正ダンパーにも対応する。

激しいアスファルトを矢のように突き進むのだ。なお、ホイールはフラッグシップの「GT4」。他ブランド用も揃えるが、ポルシェ用を中心に設計されており、911には絶対スベサーを入れるたりはしない。装着されたミシラン・パイロットスポーツ2との組み合わせも良好で、ウエットでも積極的に踏める。

また、取材時は超高速域を試すことはできなかったものの、おそらくカーボンを多用したボディパーツの空力性能を味わえるはずだ。単なるドレスアップならカークグラフィックが採用するはずがない。軽量化およびエアロダイナミクス性能を、貪欲に求めるのが彼らのやり方だ。

また、重量増にならないよう純正バンク修理用コンプレッサーを利用したエアリフターや、国別、音量別で複数用意されるマフラーなど、日常に即したきめ細かなラインアップも見逃せない。ブランドの立ち上げからおよそ20年、中堅から老舗にさしかかったカークグラフィックはいまノリにノッている。日本への供給体制が強化されたいま、彼らの勢いはさらにブリストがかかっている。

TUNING MENU

●パワーキット「チューナーGPスペック」/ ECUアップグレード/レーシングマニホールド/スポーツエキゾースト(25kg&300Wmアップ)/スポーツキャタライザー(サウンドバージョン)/テールパイプ4X80mmラウンド/インタークーラー/スポーツエアフィルター:以上すべて価格45K ●エキステリア/カーボンフロントリブスポイラー(+10kgダウンフォース):41万円/カーボンドアミラー:29万円/カーボンリヤウイング:58万円 ●サスペンション/エアリフトwithビルシュタイン816クラブスポーツwith PASM(-15~25mmダウン):79万円 ●Mov'itセラミックブレーキシステム (F380mm 6ポッド:249万円/R380mm 4ポッド:225万円) ●ホイール (F/GTR 9.0X20 ET50:33万円/R/GTR12.0X20 ET51:37万円/RDCキット:オープン価格/センターロック:1万8000円 ●インテリア ペダルセット:4万1000円/フットレスト:2万3000円

cargraphic®



Cargraphic got 1st place with 997GT3 in Tuner Grandprix 2009



GTR Wheel



Airlift Bilstein Suspension



Power Up Kit for 997 Turbo



Final Silencer for 997 GT3/RS



IS ONE Wheel

For Japan



please contact VITAMIN Phone: 0798-68-5551 • www.cargraphic.jp

VITAMIN

4-18 Ashihara-cho Nishinomiya-city Hyogo 662-0842 Japan

カーグラフィック日本総代理店 詳しい情報はWebサイト、お電話にてお問い合わせください